



「シラス」という言葉は、火山灰のことではなく「白い砂」を指し、「シラス台地」とは火山の噴火によって流れた火砕流等の堆積物によってできた台地のことをいいます。

噴火と聞くと「桜島」を連想しがちですが、桜島の噴火によるものではありません。約2万6,000年前、鹿児島湾北部の始良カルデラで起きた破局的な噴火により、火砕流が大隅半島に堆積したことが主な原因で、その時の火山灰は東北地方まで広がっていたことが分かっています。

シラスは鹿児島県本土の50%以上の面積に分布しています。中でも笠野原台地は、北側及び東側を串良川、西側及び南側を肝属川に囲まれた南北約13km、東西約10kmと広大な面積を有し、その広さは九州南部で最大となっています。また、台地面の高さは、北部で標高約180m、南部でも約20mの高さがあります。その

voice

Q シラス台地ってどんなところ?

ため、保水力が低い特徴を持つシラスが厚い笠野原台地は、長年にわたり農業用水や生活用水を得ることが困難な不毛な土地と呼ばれてきました。それでも戦後の大規模なかんがい工事によって、広大なシラス台地には水が通り、笠野原は重要な畑作畜産地帯へと変貌したのです。

シラスの特徴的な形状としては、浸食などにより、縁部が切り立った数十mの崖場になっている場所がよく見られます。乾燥したシラスは強度が高く安定していますが、水分を含むと不安定になるため、豪雨等によって崩壊しやすく、大きな災害を引き起こす場合もあります。そこで、崖崩れなどの被害を防ぐため、コンクリート枠の設置やモルタルを吹き付けることにより法面を保護したり、法面下部に擁壁ようへきを設け、土砂の流出を防止したりするなどの対策が取られています。

笠野原台地にまつわる民謡

「いやじゃ いやじゃよ 笠ん原はいやじゃ 55尋ひらの綱を引く」との民謡が残っています。笠野原では水を得るために川に水を汲みに行くか、深井戸から綱で引っ張って水を得なければなりません。台地での生活は、水を得るために苦勞することから、笠野原に嫁ぐことを女性が嫌がったため、このような民謡が残っています。

お手数ですが
63円切手を
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

皆さんからのお便りを募集

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや

KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

クイズの答え

要・不要

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒893-8501
鹿屋市共栄町 20-1
政策推進課
「読者のひろば」係
☎ 0994-31-1123